

# PEACE HIRAKATA

SPECIAL  
GUEST

元安芸高田市長  
石丸伸二氏

合同  
公開例会

誇りは、  
行動で創る

井上杜宏

一般社団法人枚方青年会議所  
第66代理事長

～変わったのではなく、変えたと誇れる未来へ～

FCティアモ枚方 代表  
村島孝史氏

グリーンツダボクシングジム 会長  
本石昌也氏

TALK SESSION 対談

地域とともに育つクラブへ  
～FC ティアモ枚方が描く、  
サッカーとまちの未来～

覚悟が組織を変える  
～ボクシングジム経営と人生哲学～



Junior Chamber International Japan  
一般社団法人枚方青年会議所

JCI HIRAKATA PRESS  
2026.9 vol.67

## 理事長対談

# 地域とともに育つクラブへ

## FC ティアモ枚方が描く、サッカーとまちの未来

FC ティアモ枚方 代表

一般社団法人枚方青年会議所 第66代理事長

## 村島 孝史氏 × 井上 杜宏

### クラブの紹介

井上理事長…枚方青年会議所は、本年度「PRIDE in ACT-ION」が変わったのではなく、変えたと誇れる未来へをスローガンに掲げ日々活動しております。FCティアモ枚方での現在の事業を、特徴も含めて教えてください。

村島代表…FCティアモ枚方は、トップチーム(社会人)のほか、ジュニア(小学生)、ジュニアユース(中学生)を運営しており、来年度にはユース(高校生/U・18)の設立も予定しています。また、小学1〜6年生を対象としたサッカースクールも運営しており、サッカーの技術向上だけでなく、外で元気に遊ぶことや仲間との協調性を育む場として活動しています。

スクールからジュニア、ジュニアユース、ユース、そしてトップチームへとつながる一貫した育成体制を整えていることが、クラブの大きな特徴です。現在、ジュニア・ジュニアユースを合わせたアカデミーには100名を超える選手が所属しています。2004年に創設し、今年でクラブ創設23年目を迎えます。

### クラブ創設の経緯

井上理事長…枚方青年会議所は来年で創立65周年を迎えます。クラブ創設当時の思いを教えてください。

村島代表…きっかけは、ガンバ大阪で同期としてプレーした元プロサッカー選手の新井場 徹さん、稲本潤一さん、播戸竜二さんの3人が、「枚方にもプロクラブを目指せるチームをつくりたい」という思いでクラブを創設したことです。

私はその思いに強く共感し、クラブの立ち上げ当初から運営に携わってきました。当時は営業の仕事をしていたが、「人生は一度きり。後悔しないように挑戦したい」という思いから、このクラブとともに歩むことを決意しました。

地域に根差したクラブをつくり、サッカーを通じてまちを元気にしたい。その思いは創設当時から今も変わっていません。多くの方々に支えられながら、一歩ずつ挑戦を続け、今日まで歩んできました。

井上理事長…青年会議所も数多くの地域や、地区、日本といういろんなカテゴリーがあります。リーグ構造についてや、クラブでの方針などもお聞かせください。

村島代表…J1〜J3のリーグの下にJFLがあり、その下に全国9地域の地域リーグ、さらに都道府県リーグと続く階層構造になっています。僕たちは大阪府リーグ5部から一つひとつ昇格を重ね、関西リーグを経てJFLまでたどり着きました。

野球と違い、サッカーは下のカテゴリーからでも実力次第でJリーグ

これまでJリーグへ送り出した12人の選手は、勤務先でも高い評価をいただいております。とても嬉しく思っています。サッカー選手として活躍する時間よりも、その後の人生の方がはるかに長い。だからこそ、サッカーだけでなく、一人の社会人として成長できるよう育てることも、クラブの大切な役割だと考えています。

### 地域との関わり

井上理事長…枚方青年会議所も地域の事業や、行政など深くかかわっています。FCティアモ枚方での、地域との関わりについて教えてください。

村島代表…FCティアモ枚方は、枚方市・寝屋川市・交野市をホームタウンとし、「北河内からJリーグへ」を合言葉に活動しています。2019年に枚方市、2024年に寝屋川市・交野市と包括連携協定を締結し、今年は守口市との締結も予定しています。

地域では、子どもたちへのサッカー教室やボールの寄贈、地域イベントへの参加など、サッカーを通じた地域貢献活動にも積極的に取り組んでいます。

また、行政・学校・企業・地域が連携する「官学民」のネットワークの中心にFCティアモ枚方が存在し、人と人、地域と企業をつなぐハブとして、地域課題の解決や子どもたちの育成、まちの活性化に貢献していきたいと考えています。

こうした関係は一朝一夕で築けたものではなく、2004年のクラブ創設以来、地域に根差した活動を続けてきた積み重ねの結果だと思っています。

これからも、枚方を代表するサッカークラブとして、地域の皆さまに応援していただくだけでなく、地域の皆さまとともに北河内を盛り上げ、スポーツの力で地域に新たな価値を生み出せるクラブを目指していきたいと考えています。

### 今後の展望

井上理事長…「枚方からJリーグへ」という目標に向けた展望を教えてください。

村島代表…北河内地域からJリーグチームを誕生させることが、クラブの一番の目標です。チームの強化やクラブ運営ももちろん大切ですが、J3昇格に向けては、Jリーグ基準を満たすスタジアムの整備が大きな課題の一つです。これはクラブだけで実現できるものではなく、地域の皆さまのご理解やご協力が欠かせません。

だからこそ、「この街にFCティアモ枚方があることが、子どもたちの夢や地域の活性化につながる」という価値を、多くの皆さまに知っ

まで昇格できる仕組みが大きな特徴です。現在トップチームには約30名の選手が所属しており、「地域から未来へ羽ばたく選手を育成する」という理念のもと、JFL昇格後5年間で12人のJリーガーを輩出しています。

### スポンサーについて

井上理事長…クラブ運営は、どのような形で支えられているのでしょうか。村島代表…Jリーグクラブはスポンサー収入に加え、チケット、グッズ、Jリーグからの配分金など、さまざまな収入源があります。一方、JFLではその多くを期待することが難しく、クラブ運営はスポンサー企業の皆さまからのご支援に大きく支えられています。

メインスポンサーは伊澤タオル株式会社様で、そのほかにも枚方市の企業様をはじめ、多くの企業・団体の皆さまにご支援いただいています。スポンサー企業の皆さまは、クラブにとって単なる支援者ではなく、ともに地域を盛り上げる大切なパートナーです。私自身も30歳で枚方青年会議所(JC)に入会し、委員長などを経験する中で築いた多くのご縁が、現在のクラブ運営にもつながっています。

### 逆境からの変革

井上理事長…関西リーグで大きい壁に当たったとお伺いしました。その経験について教えてください。

村島代表…2015年に関西リーグ1部へ昇格しましたが、その年はわずか1勝しかできず、1年で2部へ降格しました。当時は「1部の壁はこんなに高いのか」と悔しさを痛感しました。しかし、その経験が「クラブを本気で変えなければ上には行けない」という大きな転機になりました。

そこで、大卒選手を10人ほど獲得し、午前9時〜11時に練習、午後2時〜8時はクラブが幹旋する職場で働くという体制へ転換しました。日中に質の高いトレーニングができるようになり、選手のコンディションや競技力も大きく向上しました。

当時はスポンサー企業の皆さまに、「アルバイトでも構いませんので、選手を雇っていただけませんか」と一社一社お願いして回りました。地域の皆さまのご理解とご協力があったからこそ、この改革を実現することができ、クラブが前に進む大きな転換点になりました。

### JFL昇格までの道のり

井上理事長…大きな目標でもありました。JFL昇格に向けた組織的な取り組みを教えてください。

村島代表…2017年から「3年でJFL昇



ていたとき、地域全体でJリーグを目指す機運をつくっていききたいと考えています。

また、理念である「子どもたちが夢を叶えることができるクラブ」の実現に向け、来年度にはユースチームを設立します。地域で育ち、地域で活躍し、そして世界へ羽ばたく選手を育成できるクラブを目指し、これからも挑戦を続けていきます。

### JCメンバーへのメッセージ

井上理事長…本年度、枚方青年会議所がスローガンにも掲げております、「変えた」と誇れる未来」を目指す私たちにもお願いします。

村島代表…何かを変えることは決して簡単ではありません。反対されたり、失敗したり、さまざまな意見を受けることもあると思います。それでも「地域を良くしたい」という思いを持ち続け、行動し続けることが、未来を変える一歩になると信じています。

FCティアモ枚方にとってJリーグ昇格はゴールではありません。サッカーを通じて地域を元気にし、子どもたちが夢を持ち、その夢を叶えられる環境をつくるための一つの手段です。だからこそ、「何を実現したいのか」という目的を見失わず、そのために何をすべきかを考え、一つひとつ挑戦を積み重ねてきました。

青年会議所の皆さまも、それぞれが目指す地域の未来のために活動されていると思います。目的を共有し、情熱を持って挑戦を続けることで、地域は必ず変わっていきます。

FCティアモ枚方も、これからも地域の皆さまとともに挑戦を続け、枚方・北河内に誇れるクラブを目指していきます。そして枚方青年会議所の皆さまと一緒に、「変えた」と胸を張って言える未来をつくっていきましょう。



### FC ティアモ枚方とは



枚方市をホームタウンとする社会人サッカークラブ。地域密着を理念に、次世代の育成や地域貢献活動にも積極的に取り組んでいる。



## 理事長対談

# 覚悟が組織を変える ～ボクシングジム経営と人生哲学～

グリーンツダボクシングジム 会長

一般社団法人枚方青年会議所 第66代理事長

## 本石 昌也氏 × 井上 杜宏



井上理事長…ボクシングの世界に入られたきっかけを教えてください。

**本石会長**…私は学歴も資格もなく、何の取り柄もない人間で、生き方に迷っていた時期がありました。そんなある時、小松則幸というボクサーに憧れまして、出身も寝屋川ということで勝手に親近感が湧き、大ファンになって一人で応援していました。当時、金融業に勤めていた私が街で営業回りをしていた時、偶然、公園で彼と出会ったのです。「大好きで応援しています」と思わず声をかけてしまったその瞬間から縁が始まり、私の人生は激動ともいえるほど大きく変わりました。その後、畑違いだった私も、いつしか彼をサポートするようになり、それが4年間続きました。しかし、いよいよ世界に手が届くという時に、彼は不慮の事故で亡くなってしまいました。

井上理事長…大切な存在との別れが、会長をボクシングの世界へと突き動かしたのです。悲しみをエネルギーに変えて前へ進む強さは、どこから来るのでしょうか。

**本石会長**…もちろん毎日泣きましたよ。普通なら応援していた子がいなくなればボクシングから離れるものですが、私はそこで「彼の代わりに自分がこの世界で生きていこう、彼が思い残した世界チャンピオンをグリーンツダでつくる」と心に誓いました。それが33歳の時です。マネージャーとしてジムに入ったのですが、ちょうどその頃、グリーンツダは4,500万円の負債を抱えて経営破綻し、そのこと

がニュースにもなりました。そこから私が再建して今の会長になったのです。

井上理事長…ものすごくマイナスからのスタートだったのです。

**本石会長**…社会的な信用もなくなり、スポンサーも選手も離れた状態からのスタートでした。それでも子どもの頃から大好きだったグリーンツダと、そこにいた選手との縁を守る、「このジムをなくしてはいけない」という使命感だけで動きました。小松則幸は、どんなに劣勢で血まみれになっても、すごい形相で相手に向かい、逆転KO勝ちをする選手でした。その姿が私のヒーロー像と重なり、「強い気持ちで挑めば絶対に道は拓ける」という覚悟がありました。

井上理事長…私も造園業から訪問看護事業へと未経験の分野に踏み込んだ経験があります。知識や方法も大事ですが、結局は志や覚悟があるかどうかですよ。

**本石会長**…まさしくそうですね。事業も生き方も、そこに志があるかどうかがすべてだと思います。理事長も志が明確な方だとお見受けします。

井上理事長…そんなマイナスからのスタートで、5年間無給でジムに奔走されたことですが、どのようなマインドで乗り越えられたのでしょうか。

**本石会長**…金銭的には本当に苦しくて、かつての蓄えを少しずつ使いながら、「グリーンツダを復活させる」という思いだけでやってきました。もうダメかという時になると、不思議と人の助けや支えがあるのです。そうして5年やっていて

とうまういきません。トップでありながら、自分は裏方だという思いでやり始めてから変わりました。「いいことはおかげさま、悪いことは身から出た錆」と思えた時こそ、周りが大きく動き出す瞬間だと信じています。

井上理事長…経営者として、すべては自分に原因があり、自分の責任であるという感覚が大切ですよ。私もJCの組織運営の中で改めて実感しています。

井上理事長…枚方出身として、地域にどのような思いをもっておられますか。

**本石会長**…私は小中高と枚方で育ち、今も枚方に住んでいます。市からPR大使という役もいただきました。取り柄もなかった私がボクシングに出会って変わることができた。世界チャンピオンをつくるという明確な目標に向かって走り続けるその姿を、枚方の子どもたちや頑張ろうとする人たちに伝えたいのです。小松選手に出会ったあの時の私のように、「僕も私もあんな風になりたい」と思ってもらえる存在でいたいと思っています。

井上理事長…生き様が素敵ですね。会長のような方が地域にいて、周りに良い影響を与えてくださることは本当にありがたいことです。最後に、『PR DE ACTION』のもと邁進するJCメンバーへメッセージをいただけますか。

**本石会長**…私は50歳になりましたが、33歳でこの世界に入った時の思いが、今でも100倍になって燃え続けています。素人の私がなぜここまで残れたのか。それは小松選手と交わした約束や、周りの



と「会長はお前しかおらんやろう」と言っていたとき、小松が亡くなった5年後、私が二代目の会長になりました。まずはフィットネス事業に力を入れ、1年半で会員が150人ほど増えて軌道に乗り、応援してくれる企業も一気に集まりました。

井上理事長…経営が安定していく中で、さらに大きな転換点があったとお聞きしました。

**本石会長**…フィットネスで経営は安定しましたが、プロ選手が育ちませんでした。戦績も25勝25敗ほどの五分五分で、大事な試合でもことごとく負けてしまふ。ずっと悩んでいました。ある計量前日の大事な練習で、選手が「会長、最後ミット持ってください」と言ってきたのに、私はフィットネス会員の順番を優先してしまった。翌日の試合は惨敗で、控室で選手が号泣しながら「会長があれ

人財を支える覚悟が、あの時から変わらず強くあるからです。皆さまも起業した時、活動を始めた時、いろんな思いがあったはずですよ。何歳になっても、あの時の純粋な「頑張ろう」という前を向く心を、変わらずもち続けてほしい。その清らかな心もち続ける限り、事業は必ずうまくいきます。最初にもった気持ち思い返し、誇り、へと変革してください。強い信念をもつ人財が一人でも多ければ、目指す未来は必ず実現できると信じています。

井上理事長…本心に心に響きました。本日は素晴らしいお話をありがとうございました。



取材・記事・写真…  
山口達也・菅原三早妃・山田江里子

# 志を、行動へ。

広報と組織改革から考える、JCのこれから

インタビュー  
広報委員会 委員長

山口 達也

第66代理事長

井上 杜宏



組織の持続的な成長には、正しい想いの共有と、行動につながる仕組みが不可欠です。  
今号では、広報の力で組織の内と外をつなぎ、組織改革でメンバーの可能性を解き放つ。  
その両輪から、JCのこれからを見つめ直します。



の広報の発信への取り組みは、従来の運動や事業の発信だけではなく、会員の誇りにも目を向けた発信になっているかと思えます。これは、広報の重要性や、広報発信の仕組みを変えたとも言えます。その結果、事業の中でも、行政や地域の取り組みにも良い影響が出ているのも事実です。

仕組みを変えることが、組織を変える一番の近道です。ルールを変えて従わせるよりも、仕組みを変えてルールや慣例に疑問や疑いを持つことも大事です。そういうメンバーが増えていき、より良い循環や新たな取り組み、仕組みを生み出すことによって、組織として活性化していき継続的に進んでいくと考えます。

**山口委員長**…理事長から見て、本年度メンバーはどのような変化があったのでしょうか？

**井上理事長**…多くの委員会において、所信を解釈し、しっかりと取り組んでいく中で、大きな変化はあったかと思えます。

例えば、広報委員会においては、メンバーの当事者意識が芽生えており、各々のメンバーが考えてチームとなり、一丸となつて取り組んでいるように見られます。

委員長だけではなく、広報発信を委員会全体で取り組む事業となつてきているのは、大きな一歩になっていると思います。この思いや、行動を来年で以降も継続できることを願っています。

**山口委員長**…今回のPEACEの対談で、JC運動に活かせる考え方はありましたか？

**井上理事長**…今回対談をさせていただいたお二人に共通するのは、選手が主役である事業に取り組まをされているという点です。

選手を第一に考えておられ、自身の承認や称賛のためではなく、関わっている人のために全力で取り組んでいく。そういう姿勢や取り組みを、地域の活性化の一助になる様に日々の広報活動や協力企業などにも賛同を得られることで、事業の発展に繋がっているんだと思います。

JC運動にもこれは通ずる考えだとは思います。JCでもメンバー一人ひとりが選手でもありますが、役職や立場を担うことで、自分自身の承認のことでではなく、地域や組織のためを考えて行動できるメンバーを多く作り、地域に巣立っていく人材を多く輩出していくことも重要だと考えます。

**山口委員長**…本年度は、残り半年を切りましたがどのような運動に取り組んでいきますか？

**井上理事長**…今しか出来ないことを、しっかりと取り組んでいてほしいですね。

例えば、会員が自主的に広報を行うような仕組みをつくるなど目的を持った行動をやらされるのではなく、やってみようと思う環境や、仕組みを考えてみるなど、本年度の取り組みで良かったことを「虎の巻」のような形で、来年に引き継ぐようなものをつくるなど、次にバトンを繋いでいく行動や、取り組みを出来るような思いでいてほしいと思います。

枚方青年会議所は来年65周年となります。先輩諸氏が紡がれた歴史や思いを最大限に出来るよう、残り数カ月ですが全力で運動に邁進していきたいと思っています。

**山口委員長**…本年度L O M スローガンでもある『PRIDE in ACTION』へ変わったのではなく、変えたと誇れる未来へへのテーマを通じて、メンバーや、地域の皆さまに伝えたいことはありますか？

**井上理事長**…青年会議所の役職は、単年度制ではありますが、その1年で得た学びや、経験を活かし、自身の事業のさらなる発展や、地域の発展や活動にもより一層目を向けて、力を発揮出来る人材が多く増えていくことを願っています。行動を誇りに変換し、その誇りを新たな行動へと繋げ、私たちはその一歩一歩に責任をもち、地域のため、そして次代を担う青年のために、確かな軌跡を残していきます。

変わることを願うだけでは、何も変わらない。私たちが変える。その意志が、誇れる未来を創る第一歩となります。

青年会議所出身のメンバーが地域を盛り上げ、その社会のリーダーになれるような組織運営を目指し日々活動しており

**山口委員長**…村島さんとの対談を振り返って、特に印象に残った言葉やエピソードはありますか？

**井上理事長**…村島さんは、サッカーを通じて長く地域に貢献されており、その思いを年々大きくしていつていっているところが、印象的でした。

**山口委員長**…本石さんはいかがでしたか？

**井上理事長**…本石さんは、好調であったフィットネス事業から、世界チャンピオンを育てるジムへと覚悟を決められた現在も継続されている点が一番印象的でした。

**山口委員長**…今回は、スポーツを通じて枚方という地域に貢献されている方々への対談となりました。印象はいかがでしたか？

**井上理事長**…気持ちの強さと、事業を継続するためにどんなことをしないといけないのか、考え続けているところが、素晴らしいですね。青年会議所の役職は単年度制ではありますが、思いは継承していかないといけないので、通ずるところがあると思います。

**山口委員長**…本年度の取り組みで、広報活動の課題解決とはどのような取り組みをされたのでしょうか？

**井上理事長**…「広報とは、運動の入り口であり、出口である」と考えております。入口が詰まれば、まだ見ぬ同志や地域に想いが届かず、運動の拡大にならない。また、出口が詰まれば、私たちの運動が外部に伝わらず、その価値や影響力が発揮されない。広報を通じてJC運動の価値が社会へ伝播し、会員が日々行動する中で求める承認・達成感は誇りに変換され、次のさらなる行動の原動力となります。

本年度、毎日発信を行うことで、地域に根付き、会員に誇りが生まれることを願っています。

**山口委員長**…広報委員会も、この半年活動が続ける中で、発信に対して前向きに取り組む様になりました。メンバーに対しても、発信されることで、会への帰属意識や、やる気にも繋がっていると感じております。

**山口委員長**…L O M スローガンの中にある「変わったのではなく、変えたと誇れる未来へ」とありますが、この半年間でどのようなことが、変わったのではなく、変えたと実感していますか？

**井上理事長**…「変えた」という意味には、2種類あると思っています。1つはルールや仕組みを変えることです。本年度

ます。地域の方々には常に期待をもらえるように日々邁進してまいりますので、引き続きご指導・鞭撻のほどよろしくお願いたします。

**山口委員長**…私も、本年委員長という役職を受けて、青年会議所の意味や目的を深く理解することが出来ました。

自身の社業や、この取り組みを無駄にしないように、今後とも青年会議所活動や、地域の活動により一層目を向けて邁進していきたいと思っています。

**井上理事長**…青年会議所を盛り上げて、地域や市民の方々に私たちの取り組みや思いを伝播していきましょう。ありがとうございます。



取材・記事・写真…大島 充・桑田啓祐・山口達也

## HIRAKATA COMMUNITY DAY 2026

— 地域の未来を、私たちの手で。 —

地域の未来は、  
誰かがつくるものではない。私たち一人ひとりが  
枚方の未来の当事者になる。地域の課題や可能性を共有し、市民・事業者が地域の未来に  
主体的に関わるきっかけを創出するため、公開例会を通じて  
地域活性化に資する知見を提供し、共に考える場を形成します。

## 合同公開例会

石丸伸二氏 講演会

9月5日(土) 17:00～18:30  
(受付 16:30～)枚方市立総合福祉会館 ラポールひらかた  
大阪府枚方市新町2丁目1-35Let's think  
about the future  
of Hirakata

SPECIAL GUEST

石丸伸二氏

元 安芸高田市長

政治・行政改革で  
全国から注目を集める論客参加費  
無料

※事前申込制

地域の課題を  
深く知る枚方の可能性を  
見つける共に考え、  
つながる未来への  
一歩を踏み出す同日  
開催!

## Hirakata Furusato EXPO 2026

～地域の誇りを全国へ～

枚方の魅力が集まる体験型フェスタを同日開催!  
地域の“いいもの”や“想い”に出会い、  
共感し、応援する一日をお楽しみください。

会場 井上造園 マチノマひろば 12:00～16:00

〒573-1191 大阪府枚方市新町1丁目1-1



地元の農産物



枚方グルメ



クラフト・特産品



交流・体験ブース

## こんな方におすすめ!

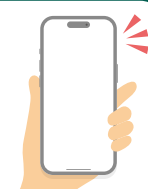
- ✓ 枚方が好き
- ✓ 地元企業を応援したい
- ✓ 地域を盛り上げたい
- ✓ ふるさと納税に興味がある
- ✓ 枚方市の魅力を知りたい

## フェスタのコンセプト

「知る」から「応援する」へ。

地域の魅力を“消費対象”として並べるのではなく、  
“共感される地域資産”として発信し、  
応援行動へ変える場を創出する。狙い：市民の皆で魅力を発信することで  
全国へ目を向けさせる広報戦略  
(共通ハッシュタグは#枚方ふるさと)あなたの投稿が、  
枚方の魅力を全国へ届ける。

#枚方ふるさと



## お申込み方法

石丸伸二氏無料講演会はWEB申込み  
フォームよりお申込みください

申込はこちらから



## 申込締切

2026年  
9月2日(水)  
まで(先着順)

## お問い合わせ

一般社団法人 枚方青年会議所 事務局

☎072-843-5306

(平日10:00～16:00)

## 主催

一般社団法人 枚方青年会議所  
枚方青年会議所シニアクラブ

## 地域活性化委員会 事業報告

あなたの  
逸品が、  
枚方の  
未来をつくる。  
Hirakata's future

～誇れる枚方の新たな一歩～ ふるさと納税 新規参画事業者説明会

## ふるさと納税 新規参画事業者説明会を開催しました!

地域の魅力を全国へ発信する新たな一歩として、ふるさと納税の新規参画事業者説明会を実施。  
多くの事業者様にご参加いただき、なんと20社を超える新規参画申込につながりました!

成果報告

約20社の  
新規参画  
申込!

司会進行(高田雅也 君)



準備・試行錯誤の積み重ね



説明会の様子



個別相談の様子

## 事業概要



## 目的

枚方市のふるさと納税をきっかけとして、地域事業者・行政・市民  
が連携し、枚方の魅力を全国へ発信することを目的に実施しました。

## 取り組み

説明会開催に向けて、委員会メンバー全員で試行錯誤を重ね、枚方  
市広報プロモーション課と連携しながら準備を進めました。

## 結果

当日は多くの事業者の皆様にご参加いただき、20社を超える新規参画  
のお申し込みをいただくなど、大きな成果を上げることができました。委  
員会メンバーが一丸となって連携し、それぞれの役割を果たしたことで、  
円滑な運営と参加事業者の皆様からの高い満足度につながりました。

## 委員長コメント

地域活性化委員会 委員長  
北原 菜緒 君地域活性化委員会 委員長  
北原 菜緒 君事業を通じて、地域には  
多くの魅力ある資源や事  
業者が存在することを改  
めて実感するとともに、  
それらを「知る・応援す  
る・広げる」という循環  
を生み出す第一歩となり  
ました。  
ご協力いただいた地域事  
業者の皆様、関係各所の  
皆様に心より感謝申し上  
げます。本事業で得ら  
れたつながりと学びを今後の地域活性化につなげ、  
枚方がより多くの人から選ばれ、誇れるまちとな  
るよう、引き続き活動してまいります。枚方の魅力を全国へ!  
あなたの逸品が、誰かの  
「うれしい」に変わる。  
共に、枚方の新しい未来をつくりましょう!

# 枚方にぎわい委員会 活動レポート

地域の笑顔とつながりを未来へ 枚方フェスティバル協議会

## 蘇れ!!淀川の舟運(春)に乗船してきました

春の淀川で、歴史と自然、にぎわいを体感

春の心地よい風を感じながら、淀川の舟運イベントに参加しました。  
 たくさんの仲間と一緒に、歴史ある水運の魅力や自然の美しさを満喫しました。  
 船上から見る景色は格別で、地域のつながりを感じる素敵な一日となりました。



### その他の枚方フェスティバル協議会の活動報告

#### 枚方市民芸能ファンタジー



ジャンルを超えた多彩なパフォーマンスがステージを彩りました。出演者の皆さんの輝く笑顔と、会場を包む温かな拍手が心に残る一日となりました。

#### 枚方ふれあいフェスティバル



地域団体や企業、学校など多くの皆さんが参加。にぎやかで笑顔あふれる一日となりました。ご参加・ご協力、ありがとうございました！

#### くらわんかフェスティバル in 枚方2026



くらわんかの歴史と文化を感じるイベントとして、来年も開催を予定しています。どうぞご期待ください！

シャッターの販売/施工/メンテナンス  
 外構工事 / カーポート / エクステリア全般  
 内装リフォーム / 水回り工事一式



株式会社C-NEXT  
 代表取締役 西本 慧介

〒570-0032 大阪府守口市菊水通2丁目10-1 菊水ビル108号  
 TEL: 06-6780-9966 FAX: 06-6780-4066  
 Mail: info@c-next.ne.jp HP: https://c-next-lp.jp



株式会社中野重機

〒573-0076  
 枚方市東香里元町10番55号  
 072-854-0955



株式会社橋電気工事  
 TACHIBANA DENKI KOJI Co., Ltd.

〒573-0102 大阪府枚方市長尾家具町4-23-19  
 TEL 072-850-4070 / FAX 072-850-4056

未来を変える、枚方の力

笑顔が、まっりの原動力!

市民が主役。老若男女が楽しめる2日間

枚方まつり 2026

ニッパーク岡東中央会場 ステージ

9月26日(土) メイン企画  
市民カラオケ大会  
7月上旬より募集開始

9月27日(日) メイン企画  
市民カラオケ大会 & メインアーティスト  
会場の一体感を高め、枚方の魅力を発信

みんなで創る特別な2日間!

## おばけバスやウォーターパーク、雪遊び等、遊び処が盛りだくさん!!

- ニッパーク岡東中央会場(ステージ会場、PRブース)
- 別館駐車場会場(市役所別館入口前会場、議員駐車場を含む)
- 大ホール前会場(市内福祉団体福祉事業など)
- 法務局横道路会場(川原町商店街前道路を含む)
- ふれあい通り会場
- コンコース会場



### 開催日時

|     |                              |
|-----|------------------------------|
| 1日目 | 2026年9月26日(土)<br>13:00~20:00 |
| 2日目 | 2026年9月27日(日)<br>12:00~20:00 |

笑顔でつながり、枚方がもっと好きになる!あなたの参加がまつりをつくる力に!





## 姉妹JC(彰化JC)との交流事業

～国境を越えた友情と信頼、未来へつながる絆～

今年は姉妹JCである彰化国際青年商會の皆様を枚方の地へお迎えし、交流事業を開催いたしました。

歓迎セレモニーや記念品交換、懇親会を通じて相互理解を深めるとともに、大阪城視察などの交流プログラムを実施し、日本の歴史や文化、そして枚方の魅力を体験していただきました。

言葉や文化の違いを超え、青年経済人としての志や地域への想いを共有することで、これまで以上に強固な信頼関係を築くことができました。

彰化国際青年商會の皆様との交流を通じ、多くの学びと友情を育む貴重な機会となりました。

国際交流を通じて培われた絆を今後も大切にしながら、互いの地域発展に寄与できる関係を築いてまいります。



### 大阪城視察



■開催日 2026年6月19日(金)～6月21日(日)

■開催場所 大阪府枚方市・大阪市

■交流内容

- 歓迎セレモニー
- 記念品交換
- ウェルカムパーティー
- 大阪城視察
- 意見交換・情報共有
- 国際的な友情と信頼関係の構築



## 友好JC(中村JC)との交流事業

～絆を深め、学び合い、次代へつなぐ～

今年は友好JCである中村JCの四万十市へ訪問し、温かくお出迎えいただきながら交流事業に参加いたしました。四万十ヒノキの間伐体験や製材所、新校舎の見学を通じて、四万十市の豊かな自然や地域の魅力に触れることができました。

中村青年会議所の皆様との交流を深め、多くの学びと感動に満ちた貴重な機会となりました。今後も両地域の絆を大切にしながら、さらなる交流を育んでまいります。



### 懇親会



### 交流のひととき



### 林業体験



■開催日 2026年5月24日(日)

■開催場所 高知県四万十市(中村地域)

■交流内容

- 歓迎懇親会
- 林業体験(チップ作業・森林見学)
- 意見交換・情報共有
- 未来のまちづくりに向けた交流



世代を超えた交流は、互いの成長と地域の発展につながる大切な機会です。引き続き、友好の絆を深めながら、次代へつないでいきましょう！

### 記念品交換



### 交流のひととき



国や文化の違いを超えた交流は、新たな価値観や学びを生み出します。

姉妹JCである彰化JCとの絆をさらに深めながら、未来を担うリーダー同士の友情を育み、

国際的な視野を持った地域づくりにつなげてまいります。



大規模改修工事全般  
防水・シーリング工事

代表 中井 規仁

〒615-8123  
京都府京都市西京区山路12番地1 グランシャロ303  
Tel:080-3821-4644 Fax:075-278-7626  
E-Mail:nakaikougyou0422@gmail.com

柔道整復師



かたぎり接骨院

院長 片桐祐太

〒573-1146 枚方市牧野阪2-7-14  
072-808-8200  
kclab.2023@gmail.com

建築塗装



宮田建装

宮田 海

〒614-8056  
京都府八幡市八幡福祿谷146-53  
080-4193-5124  
miyatakensou1530@gmail.com

# 2026年度 事業報告

一般社団法人 枚方青年会議所

## 2026年度 第一回定時総会・ 新年祝賀会

結束を力に、新たな一年が始動。

第66代理事長 井上杜宏君が2026年に掲げるスローガンと方向性を総会出席者に共有することができました。

また、多くのメンバーに祝賀会へご参加いただき、井上理事長のご挨拶を通じて2026年度の新たなスタートとして本年の方向性を周知し、意思統一を図るとともに、メンバーが一丸となるきっかけとなりました。



## 会員拡大活動報告

仲間の輪を広げ、未来への挑戦へ。

2026年度も昨年に続き、多くの新たな仲間が加わり、枚方青年会議所は更なる飛躍を目指し新しい未来のため一人ひとりの想いをつなげ、地域のためにできることを増やし、より良い未来の創造に挑みます。



一般社団法人枚方青年会議所はともに成長し、地域の未来を切り拓く仲間を募集しています。



Junior Chamber International HIRAKATA  
一般社団法人枚方青年会議所

未来を、枚方から。



# 2026年度 事業ダイジェスト

学び・交流・挑戦を通じて、地域と仲間、そして未来へつながる一年。

## 月例会報告

各分野で活躍される講師の皆様をお迎えし、多様な視点と学びに触れる機会を創出しました。今後の活動や地域の未来につながる気づきを得る場となりました。

月例会(2月)

担当: 枚方まつり実施委員会

月例会(3月)

担当: 会員拡大委員会

月例会(4月)

担当: 国内渉外交流委員会

月例会(5月)

担当: 広報委員会



2月度例会 講師 渡部 建氏  
講演テーマ 「挑戦の力で人と共に歩む」



4月度例会 講師 山本 桂司氏  
講演テーマ 「つながる力が地域の未来をつくる!」



3月度例会 講師 中西 正男氏  
講演テーマ 「人の心をつかむ人財へ〜人に好かれる話し方や関わり方、考え方を学ぼう〜」



5月度例会 講師 坂本 翔氏  
講演テーマ 「私たちが広告塔になるということ〜SNS時代の広報を自分ごとにする力〜」

## 会員交流事業

会員同士の交流を深めることを目的に、ロゲイニングを実施し、それぞれのチームで山田池公園を探索しました。探索後にはBBQを開催し、参加者全員が最後まで楽しみながら、新たな会員同士の一体感や交流が生まれる事業となりました。



## JCI ASPAC 新潟大会

2026年度は国内の新潟県で開催したASPAC! 枚方青年会議所のブース出展は枚方にぎわいフェスタで大人気だった「ホルモン塩焼きそば」を振る舞い、多くの来場者は会場のボルテージに魅了され「その場にいる価値」を感じられる時間となりました。私たちは多くの仲間と交流し、国際的なつながりと活動の広がりを実感する機会となりました。



芸能プロダクション  
**YELLOWCAB**  
KYOTO  
モデル・俳優・アイドル・ダンサー  
京都から世界へ  
未来ある人材の発掘・育成  
『あなたの夢を叶えます』

**Padg GROUP**  
代表取締役  
桑田 啓祐  
〒603-8105  
京都市北区小山西宮町1-4  
TEL 075-741-6676

**SEISHIN**  
SEISHIN CONSTRUCTION INDUSTRIES, INC.  
**誠信建設工業株式会社**  
〒573-1118 枚方市楠葉並木2丁目20番6号  
TEL 072-857-2788 FAX 072-856-2284

**Rejoice Home**  
住む喜び、生まれる  
**株式会社リジョイスホーム**  
〒573-1118 枚方市楠葉並木2丁目20番6号  
TEL 072-857-2123 FAX 072-807-6162

通信業・OA機器  
**ICTサポート**  
代表 日吉田義弘  
〒573-1105  
大阪府枚方市南楠葉2丁目2-3  
Tel: 072-851-1111 Fax: 072-851-1100  
E-Mail: ganbaru.happy.sp@gmail.com

コンクリート二次製品据付専門  
**Construct Eto Co., Ltd**  
**株式会社コンストラクト エトウ**  
〒573-0015  
大阪府枚方市村野東町29-26  
Tel: 072-898-8753 Fax: 072-898-8754  
Mail: info@c-eto.co.jp

**TSUJIDENKOU CO.LTD.**  
Make Your Smile Shine  
**株式会社 辻 電 工**  
専務取締役 辻 輝 樹  
〒614-8066 京都府八幡市大芝60番地2  
TEL 075-874-2527 FAX 075-874-2578  
E-mail: t-tsuji@denko@tiara.ocn.ne.jp

建築設計・土木設計  
**DAIKI**  
代表取締役 濱田 大輝  
〒573-0073 大阪府枚方市高田二丁目35-2  
TEL: 072-860-2811 / FAX: 072-860-2812  
mail: d-info@daiki-ltd.co.jp



枚方JC

検索  
クリック!

PEACE HIRAKATA vol.67  
アンケートに  
ご協力ください。



庭園設計・施工・管理  
土木工事 伐採・除草工事等



株式会社  
**井上造園**

代表取締役 井上 杜宏

〒573-0163 大阪府枚方市長尾元町1-33-67  
TEL:072-860-7093 FAX:072-807-8866  
mail:inouezouen1013@gmail.com



林 勇太  
Yuta Hayashi

〒576-0051  
大阪府交野市食治7丁目32-3 桜道102  
tel:072-896-8832  
fax:072-845-6897  
mail:nexus.katano@gmail.com  
mobile:080-1520-9087

建築・内装軽鉄・内装仕上工事



大阪府建設許可(特-30)第99738号  
〒573-1134 枚方市養父丘2丁目22-3  
電話 072-867-5719 FAX 072-867-8594



焼肉 **てつ**

厳選された上質な和牛を提供しております!

御予約受付中

〒573-1107 枚方市楠葉中町1-5  
TEL:072-894-9366

**JOB グループ**

(株)ジョブ建設  
(株)JOB警備保障  
(株)ケイトアル



Life creation Co.,Ltd.  
Money for the future

専務取締役 大島 充

総合金融代理店  
(生命保険・損害保険・住宅ローン・資産形成)

〒612-8362

京都府京都市伏見区西大手町307-29  
TEL:075-266-9675 FAX:075-366-9676  
mail:osimal1990@gmail.com

タイル・石施工販売

**有限会社内田タイル**

代表取締役 内田 吉彦

〒573-1115

大阪府枚方市東船橋2-36-8

TEL 072-851-5505

mail: uchida.tile@gmail.com

寿司・鮮魚

**魚和水産**

UOKAZU SUISAN 和

産地直送よってって 枚方北山店舗内

鮮魚は何でもご相談ください!

別注受付中

大阪府枚方市北山1-23-1  
TEL 072-855-0357



株式会社 広瀬自動車

板金塗装

代表取締役 廣瀬 公彦

hirose kimihiko

修理

販売

車検

整備

車買取

〒566-0064 大阪府摂津市島飼中3丁目4-41

☎ 072-646-8166

☎ 072-646-8167

☎ 090-5154-5681

**てらまち法律事務所**

弁護士 榮田 翔太郎

〒604-0992 京都市中央区寺町通夷川上ル  
藤木町24-2 藤ビル3F

TEL:075-744-0451 FAX:075-744-0452

sakaeda@teramachi-law.jp

総合建築業



株式会社 ヤマゲン工務店

YAMAGEN KOU MUTEN

代表取締役 山元 孝

〒573-1155 大阪府枚方市招提南町1-56-6-101

TEL:072-807-4114 FAX:072-807-4124

mail:yamamoto@yamagen-gy.com